

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 日

鹿児島市長 下鶴 隆央 殿



提出者

住 所 鹿児島市川上町2216番地1

氏 名 永田重機土木株式会社

代表取締役 永田 雄一

電話番号 099-244-3388

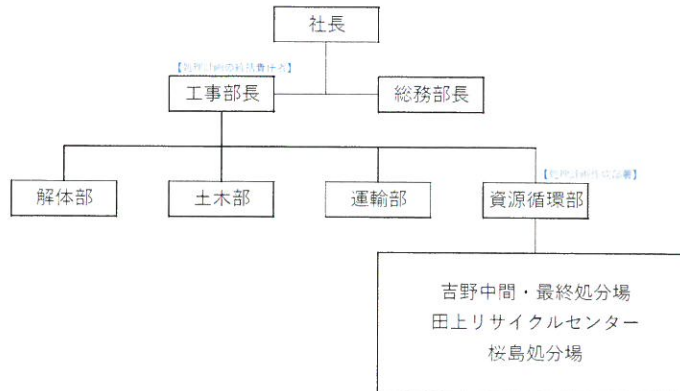


廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	永田重機土木株式会社(解体・工事現場)		
事業場の所在地	鹿児島市内		
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業		
②事業の規模	元請完成工事高(前年度実績)	80,529,752円	
③従業員数	68名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 産業廃棄物処理工程		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	排出量	別添 内訳書【A】	
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none">・ 工事標準仕様書（特記仕様書）による適正処理・ 廃棄物処理法、建設リサイクル法等関係法令に基づく適正処理		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	排出量	別添 内訳書【B】	t
	(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none">・ 工事標準仕様書（特記仕様書）による適正処理・ 廃棄物処理法、建設リサイクル法等関係法令に基づく適正処理・ 資材管理を徹底し、余剰材の発生抑制に努める		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 解体現場及び工事現場での分別の徹底（手作業・機械分別併用）
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 更なる分別解体を行い、産業廃棄物種類別の分別に努め、3R率を上げる ・ 廃プラスチック類を再生利用可能とするための細分化

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別添 内訳書【C】	t
	（これまでに実施した取組） ・混合廃棄物の分別の徹底 ・リサイクル率の向上		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別添 内訳書【D】	t
	（今後実施する予定の取組） ・混合廃棄物の分別の徹底を行う為の職員への再教育 ・リサイクル率の向上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別添 内訳書【E】	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別添 内訳書【F】	t
（これまでに実施した取組） ・鉄くず、紙くずは分別を行い、再生可能廃棄物は有価物として販売 ・再生可能な木くずは破碎処理を行い集荷物として販売 ・建設汚泥は固化・安定処理後、路盤材など土木資材として再利用 ・再生不可の木くず、紙くず、繊維くずは焼却処理を行い、減量化を図った			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別添 内訳書【G】	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別添 内訳書【H】	t
（今後実施する予定の取組） ・引き続き、現状と同じ処理を行う ・再生可能な廃瓦などの投機類は、破碎処理を行い、瓦チップとして再利用及び有価物として販売			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別添 内訳書【I】	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・より細かい分別作業を行い、廃棄物を再資源化を行い埋立処分量の削減に努める。 ・海洋投棄処分は行ったことはない。 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別添 内訳書【J】	t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、現状と同じ処理を行う。 ・廃プラスチック類の再生利用業者への処理委託の増加 ・海洋投棄処分は行わない。 		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	全処理委託量	別添 内訳書【K】	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別添 内訳書【L】	t
	再生利用業者への処理委託量	別添 内訳書【M】	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別添 内訳書【N】	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別添 内訳書【O】	t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・再資源化不可の木くず・紙くず・繊維くずは焼却処理後、焼却灰は、管理型最終処分場へ処理委託している。 ・鉄くず、紙くずは分別を行い、再生可能廃棄物は有価物として再生処理業者へ販売 ・ 		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別添 内訳書	
	全処理委託量	別添 内訳書【P】	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別添 内訳書【Q】	t
	再生利用業者への 処理委託量	別添 内訳書【R】	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別添 内訳書【S】	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別添 内訳書【T】	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、現状と同じ処理を行う ・可能な限り、優良認定処理業者への処理委託を検討する。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

別添内訳書

(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、集計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

数字(t)

廃棄物の排出の抑制に関する事項											合計
	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン(※)	繊維くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	廃油	可燃混合	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項											
①現状(前年度実績)	1,770	106	8	15	8	6	0	0	1	15	1,929
②計画(今年度目標)	1,681	101	7	15	8	5	0	0	1	14	1,833
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状(前年度実績)	1,546	81	0	15	0						1,642
②計画(今年度目標)	1,469		0		0						1,469
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項											
①現状(前年度実績)											0
②計画(今年度目標)		23				2				13	37
											0
		21				2				12	35
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項											
①現状(前年度実績)	224										224
②計画(今年度目標)	213										213
産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
①現状(前年度実績)		3	8		8	4			1	2	26
内訳						3			1		4
内訳					8						8
内訳											0
内訳											0
②計画(今年度目標)		3			8	4			1	2	17
内訳						3			1		4
内訳					8					2	10
内訳											0
内訳											0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

【別添】産業廃棄物処理工程

